

REVERB (PEDAL)

MERCURY7

MANUAL v.2

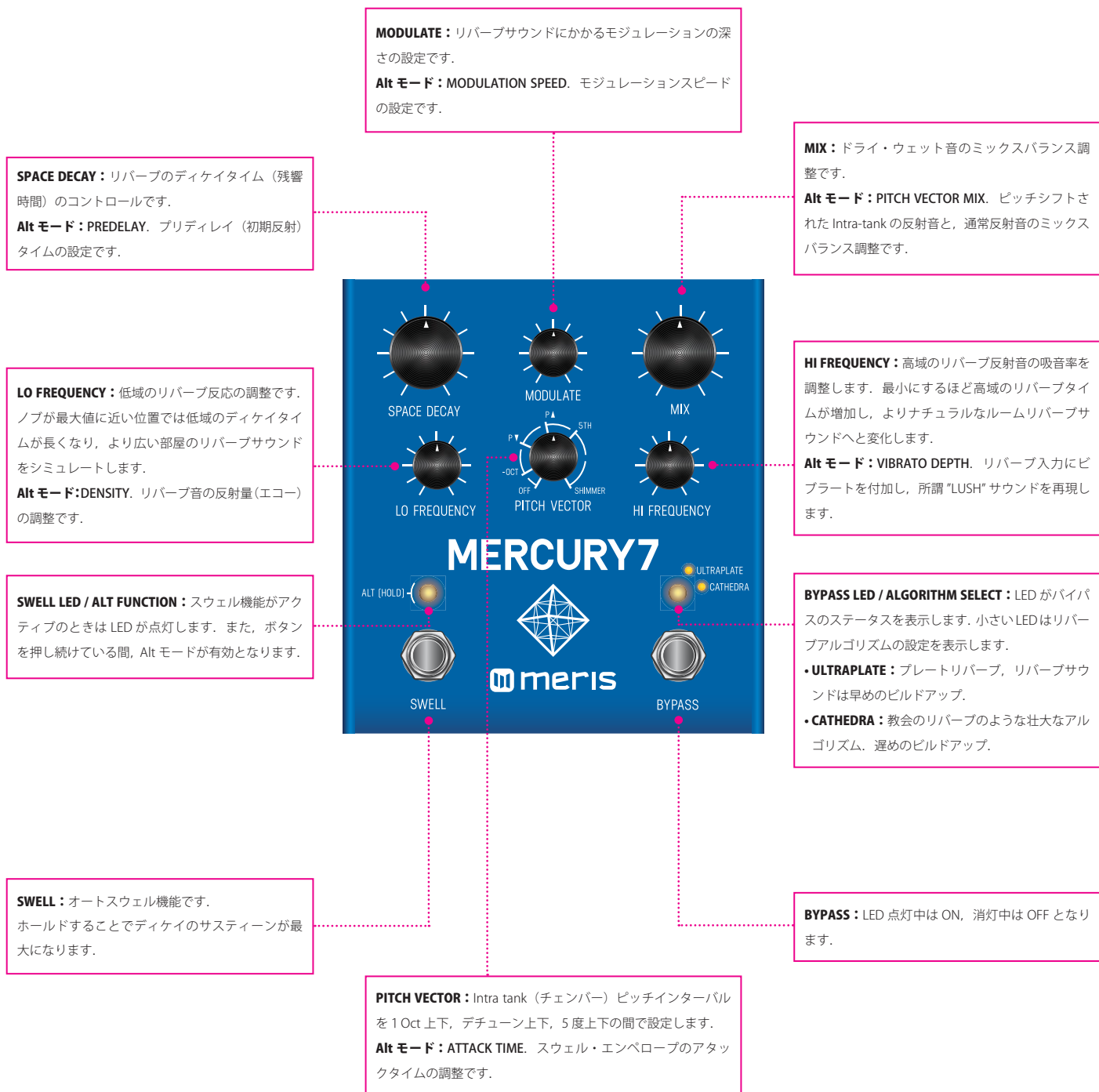
MORE THAN LOGIC. UNITING ART + ENGINEERING.

日本語版マニュアル

目次

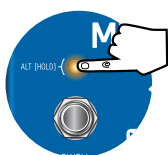
第1章	MERCURY7 各機能解説	2
第2章	グローバルセッティング	3
第3章	エクスプレッション端子モード詳説	4
第3a節	Expression Pedal	4
第3b節	External Switch	4
第3c節	4 Button Preset Switch	4
第3d節	MIDI	4
第4章	ノブ動作詳説	5
第5章	プリセット詳説	5
第6章	MIDI CC 一覧表	6
第7章	MERCURY7 プリセット 1 の工場設定	7
第8章	技術仕様	8

第1章 MERCURY 7 各機能解説



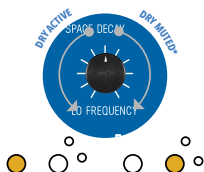
第2章 グローバルセッティング

グローバルセッティングへのアクセス方法：



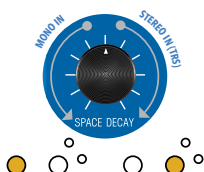
左側の SWELL フットスイッチの上にある LED ボタンを押しながら電源を投入します（起動には3秒を要します）。フロントパネルの全LEDが3回点滅します。

KILL DRY：*DRY MUTED 時、Wet モードのみがアクティブになります。パイパス時は本機全体がミュートされます。



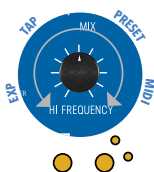
左側 LED は DRY ACTIVE 表示 右側 LED は DRY MUTED 表示

INPUT MODE：



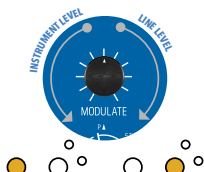
左側 LED は MONO 表示 右側 LED は TRS 表示

EXPRESSION MODE：



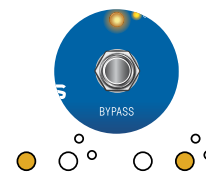
フロントパネルのLEDが点滅して EXP, TAP, PRESET, MIDI を示します。

LINE/SYNTH LEVEL：



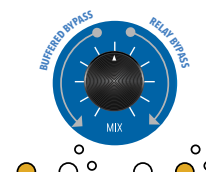
左側 LED は INSTRUMENT LEVEL 表示 右側 LED は LINE LEVEL 表示

MIDI THRU ON：右側フットスイッチでトグル動作



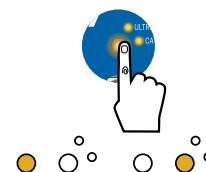
左側 LED は MIDI OUT 表示 右側 LED は MIDI THRU 表示

BYPASS MODE：



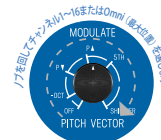
左側 LED は BUFFERED BYPASS 表示 右側 LED は RELAY BYPASS 表示

TRAILS：右側 LED ボタンのみを用いて TRAILS のオン/オフを交互に切り替えます。



左側 LED は OFF 表示 右側 LED は ON 表示

MIDI CHANNEL：



フロントパネルのLEDが点滅して二進数を示します。

MIDI チャンネル	LED 点滅パターン	MIDI チャンネル	LED 点滅パターン	MIDI チャンネル	LED 点滅パターン	MIDI チャンネル	LED 点滅パターン
1	0 0 0 0	5	0 0 0 1	9	0 0 1 0	13	0 0 1 1
2	0 0 0 1	6	0 0 1 1	10	0 0 1 1	14	0 0 1 1
3	0 0 1 0	7	0 0 1 0	11	0 0 1 0	15	0 0 1 0
4	0 0 1 1	8	0 0 1 1	12	0 0 1 1	16	0 0 1 1

第3章 エクスプレッション端子モード詳説

エクスプレッションペダル用の端子はグローバルセッティングにて選択可能な4つの異なる操作モード——Expression Pedal, External Switch, 4 Button Preset

Switch, MIDI ——を提供する多機能ジャックです。

第3a節 Expression Pedal

エクスプレッションペダルはすべてのノブの値（第2レイヤーのノブの値も）の設定をその2セット間で変化させます。つまり、完成した性質の異なるプリセット2個の間を、エクスプレッションペダルを使って変化させることができます。まず、エクスプレッションペダルを「トゥアップ（つま先の上がった）位置」にして、各ノブを希望するように設定します（第2レイヤーのノブも含めて）。次にエクスプレッ

ションペダルを「トゥダウン（つま先の下がった）位置」にして、各ノブを第2のサウンドを作るように設定します。これでエクスプレッションペダルをヒールからトゥまでスワイプすれば、この2セットの設定間を滑らかに変化できるようになります。MIDI CC #04 を用いてエクスプレッションペダルを操作することも可能です。



エクスプレッションペダルを使用している場合でエクスプレッションペダルの「トゥアップ」設定を「トゥダウン」設定に素早くコピーしたいときは、ケーブルを Mercury7 の EXP ジャックから抜いてから差し込み直すだけです。これは実に便利なショートカットで、エクスプレッションペダルで変更したいのはただ1つのパラメーターである場合は手動でサウンドを作り直す必要はありません。

第3b節 External Switch

Mercury7の場合、外部スイッチはスウェルを稼動し、本体にある SWELL フットスイッチと同じ機能を持ちます（これは長押しでディケイ出力を最大にすることも含み

ます）。

第3c節 4 Button Preset Switch

Meris 社製の4ボタンスイッチを接続してある場合、このモードはプリセット1～4へのアクセスと即座の稼動を提供します。

第3d節 MIDI

Mercury7はEXPジャックを介したMIDI入出力を備えており、豊かで深いMIDI実装を行ってあります。すべてのノブや別機能、エクスプレッションペダル、そしてスイッチはMIDI CCを介して利用できます。プログラムチェンジメッセージを受信すること（MIDI PC）ができます。またプリセットを受信することも可

能です。必ずグローバルセッティングで希望するMIDIチャンネルを設定してください。複数の機材をMIDIに連続してつないである場合、ユーザーは各機材をそれぞれ自身のチャンネル上でモニターしたり送信するように設定したいはずです。本マニュアル巻末のMIDI CC一覧表も参照してください。

第4章 ノブ動作詳説

選択されている EXP ジャックのモードに応じて、Mercury7 は電源投入時にトップレイヤーのノブをスキャンしてノブを更新します。Mercury7 はその EXP ジャックのモードが Expression Pedal または External Switch のいずれかに設定された場合、起動時にノブをスキャンします。つまり、本機がオフのときであってもユーザーがノブ設定を変えた場合、次回本機の電源を入れたときに本機がどのような音になるかはそれらのノブの値で決まるといえます。また、スウェルならびにアルゴリズムのタイプは自動的に保存され、最後に本機が通電されていたとき

の設定に戻ります。EXP ジャックのこれら 2 つのモードでは Mercury7 は従来のギターペダルとまったく同じように動作し (WYSIWYG)、EXP ジャックのモードが 4 Button Preset Switch または MIDI のいずれかに設定された場合は、本機はサンプルに現在のメモリー位置内に保存されているプリセットを呼び出します。この設定によって、演奏のために正確なサウンドを呼び出すことに確信を持ちたいユーザーのために、Mercury7 は確実に標準的なマルチプリセットの機材のように動作するようになります。

第5章 プリセット詳説

Mercury7 には 16 個の内部プリセット位置があります。最初の 4 つのプリセットには互換性のある 4 ボタンのフットスイッチでアクセスでき、全 16 個のプリセットには MIDI のプログラムチェンジメッセージでアクセスできます。

プリセットを保存するには単純に ALT ボタンを長押しします。プリセットはユーザーが ALT+ (第 2 レイヤー) ノブを編集するたびに保存されます。このようにして電源が切られたあとに、Mercury7 はユーザーの第 2 レイヤーノブの設定をそのメモリー内に保つことができようになっています。

プリセットを現在の位置とは別の位置に保存するには、互換性のある 4 ボタンフットスイッチ上の希望するプリセットボタンを押すか、プログラムチェンジメッセージを MIDI 経由で編集したいプリセットに送信します。変更を行ったあとには ALT ボタンを長押しして保存してください。

1. Meris社プリセットスイッチを使用する場合

- Meris ペダル本体のグローバルセッティングにおいて、EXPRESSION MODE を 4 Button Switch に設定します。(各ペダルのマニュアル参照)
- プリセットスイッチと Meris ペダルを TRS ケーブルを使用し、接続します。
- 保存したいスイッチを押し、保存したいサウンドを作ります。
- 完成しましたら ALT (HOLD) スイッチを長押しします。
- これでプリセットスイッチの該当の番号にプリセットが保存されます。

2. MIDI装置を使用する場合

- Meris ペダル本体のグローバルセッティングにおいて、EXPRESSION MODE を MIDI に設定します。(各ペダルのマニュアルを御覧ください)
- Meris 社の MIDI I/O を介して MIDI 装置と Meris ペダルを接続します。
- 保存したい番号のプログラムチェンジメッセージを Meris ペダルに送信します。
- 保存したいサウンドになるように Meris ペダル本体の設定を変更します。
- 完成しましたら ALT (HOLD) スイッチを長押しします。
- 該当のプログラムチェンジ番号にプリセットが保存され、プログラムチェンジメッセージを送信することでプリセットが呼び出されます。

第 6 章 MIDI CC 一覽表

CONTROL CHANGE	MERCURY7 CONTROL	RECEIVE VALUE RANGE	TRANSMIT VALUE RANGE
CC# 04	EXPRESSION PEDAL	0 ~ 127	0 ~ 127
CC# 14	BYPASS	0 ~ 63 = FX BYPASS 64 ~ 127 = FX ENABLE	0 = FX BYPASS 127 = FX ENABLE
CC# 16	SPACE DECAY	0 ~ 127	0 ~ 127
CC# 17	MODULATE	0 ~ 127	0 ~ 127
CC# 18	MIX	0 ~ 127	0 ~ 127
CC# 19	LO FREQ	0 ~ 127	0 ~ 127
CC# 20	PITCH VECTOR	0 ~ 127	0 ~ 127
CC# 21	HI FREQ	0 ~ 127	0 ~ 127
CC# 22	PREDELAY	0 ~ 127	0 ~ 127
CC# 23	MOD SPEED	0 ~ 127	0 ~ 127
CC# 24	PITCH VECTOR MIX	0 ~ 127	0 ~ 127
CC# 25	DENSITY	0 ~ 127	0 ~ 127
CC# 26	ATTACK TIME	0 ~ 127	0 ~ 127
CC# 27	VIBRATO DEPTH	0 ~ 127	0 ~ 127
CC# 28	SWELL	0 ~ 63 = SWELL OFF 64 ~ 127 = SWELL ON	0 = SWELL OFF 127 = SWELL ON
CC# 29	ALGORITHM SELECT	0 ~ 63 = ULTRAPLATE 64 ~ 127 = CATHEDRA	0 = ULTRAPLATE 127 = CATHEDRA

第7章 MERCURY7 プリセット1の工場設定

EXPRESSION	PARAMETER	KNOB POSITION	REAL WORLD VALUE	MIDI DECIMAL	MIDI HEX
TOE UP	SPACE DECAY	1 時少し前の位置	ディケイを 63% に設定	80	50
TOE UP	MODULATE	9 時の位置	10% のモジュレーション深度	12	C
TOE UP	MIX	12 時を少し過ぎた位置	60% リバープ, 100% ドライ	77	4D
TOE UP	LO FREQUENCY	MAX	低域減衰なし	127	7F
TOE UP	PITCH VECTOR	MIN	ピッチシフト停止	0	0
TOE UP	HI FREQUENCY	MAX	高域減衰なし	127	7F
TOE UP	PREDELAY	MIN	0 ms のプリディレイ	0	0
TOE UP	MOD DEPTH	10 時の位置	16% のモジュレーション深度	21	15
TOE UP	PITCH VECTOR MIX	1 時の位置	70% ピッチ, 30% ドライ	88	58
TOE UP	DENSITY	MAX	最大デンシティ	127	7F
TOE UP	ATTACK TIME	12 時の位置	約 600 ms	63	3F
TOE UP	VIBRATO DEPTH	MIN	ビブラートはオフ	0	0
	SWELL	N/A	スウェル停止	0	0
	ALGORITHM	N/A	ULTRAPLATE	0	0
TOE DOWN	SPACE DECAY	MAX	最大ディケイ時間	127	7F
TOE DOWN	MODULATE	MAX	最大モジュレーション深度	127	7F
TOE DOWN	MIX	MAX	100% リバープ, 0% ドライ	127	7F
TOE DOWN	LO FREQUENCY	MAX	低域減衰なし	127	7F
TOE DOWN	PITCH VECTOR	MIN	ピッチシフト停止	0	0
TOE DOWN	HI FREQUENCY	MAX	高域減衰なし	127	7F
TOE DOWN	PREDELAY	MAX	41.5 ms のプリディレイ	127	7F
TOE DOWN	MOD DEPTH	MIN	最小モジュレーション深度	0	0
TOE DOWN	PITCH VECTOR MIX	1 時の位置	70% ピッチ, 30% ドライ	88	58
TOE DOWN	DENSITY	MAX	最大デンシティ	127	7F
TOE DOWN	ATTACK TIME	12 時の位置	約 600 ms	63	3F
TOE DOWN	VIBRATO DEPTH	MIN	ビブラートはオフ	0	0

第 8 章 技術仕様

変換	24 ビット A/D および D/A	電源	DC 9V, 150 mA, 2.1 mm ジャック (センターピン=ネガティブ)
DSP	32 ビット浮動小数点	バイパス	トウルーパーパス (リレー) またはアナログバッファアンプ みの選択式バイパス
サンプルレート	48,000 Hz	寸法	W 108 mm × D 114 mm × H 51 mm
入力インピーダンス	1 M Ω	重量	414 g
S/N 比	115 dB		
周波数特性	20 Hz ~ 20 kHz		
最大入力レベル	+9 dBu (INST レベル設定) +12.5 dBu (LINE/SYNTH レベル設定)		

ファクトリーリセット

電源投入時にMODE ボタンを押し続けていることで全プリセットならびに全グローバル設定をそれぞれの工場出荷時の状態にリセットできます。
リセットが完了したら本機の電源を入れ直してください。

Mix Wave[®]

Meris 社日本代理店 ミックスウェーブ株式会社

〒154-0014 東京都世田谷区新町 2-3-2-3F

電話番号：03-6804-1681 Email：sales@mixwave.co.jp Fax：03-5450-8201

Web：http://www.mixwave.co.jp

本書は米国 Meris 社の許諾を得て同社の『MERCURY7 Manual v.2 (2017年7月26日発行)』をミックスウェーブ株式会社が翻訳・編集したものです。無断複写・転載を禁じます。

Japanese Edition, © 2019 Mix Wave, Inc. All rights reserved.